



有限
会社

日置川清掃

HIKIGAWASEISOU

URL : <https://www.seisou-hikigawa.com>



エコアクション21
認証番号 0001481

認証・登録番号 0001481
認証・登録日 2007.4.6

2023 年度 環境経営活動レポート

【対象期間 2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日】



作成日 : 2024 年 6 月 1 日

CONTENTS

01	あいさつ	3 P	▶
02	環境経営方針	3 P	▶
03	組織の概要	4 P 5 P 6 P 7 P	▶
04	環境経営組織図及び役割・責任・権限表	8 P	▶
05	許可の内容・実績	9 P	▶
06	環境経営目標及びその実績	10 P	▶
07	環境経営計画の取組結果とその評価	11 P 12 P 13 P 14 P 15 P	▶
08	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無	16 P	▶
09	緊急事態対応訓練	16 P	▶
10	活動の紹介	17 P 18 P	▶
11	これまでの環境活動の紹介	19 P 20 P	▶
12	代表者による全体の評価と見直し・指示	21 P	▶

私たちは、白浜町で廃棄物を取り扱う会社です。
廃棄物のリサイクル・適正処理に努め、環境保全
活動に取り組んでおります。



ごあいさつ

私たちが直面する地球温暖化問題は、現代を生きるものにとって重要な課題です。

私たちは環境問題に取り組み、環境保全で“明るい未来の街づくり”を組織及び各人がその役割を担い、自らの事業の発展を求めて環境保全意欲増進のための活動を促進するために地域顧客と共に考え施策を講じていきます。

環境経営方針

【基本理念】

環境経営が重要課題であることを踏まえ、環境経営システムを構築・運用し、(有)日置川清掃の全社員が自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。当社の産業廃棄物収集運搬・中間処理における環境負荷を減少させ、リサイクル率を高める事業活動に取り組むため、次のように定めます。

〈事業基盤の強化・拡大〉

- ・適正処理の更なる推進と環境再生に努めます。
- ・産業廃棄物の適正な収集運搬及び処理を促進するための人材を育成します。
- ・最終処分量削減によるコスト削減や再資源化率向上をめざします。

〈CSR活動への積極的な取組強化〉

- ・温室効果ガスの排出による環境への負荷を出来る限り低減します。
- ・非常災害により生じた廃棄物の処理に積極的に協力します。
- ・環境保全や雇用の拡大に努め、地域社会の健全な発展に貢献します。

【環境保全への行動指針】

- ① 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- ② 次の項目について環境経営目標を定め、実施計画を立て継続的改善に努めます。

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1 地球温暖化防止のためCO ² 排出量削減 | 6 再資源化品の販売促進 |
| 2 電力使用量削減 | 7 水資源の保護 |
| 3 収集運搬車等の燃料削減 | 8 グリーン購入の推進 |
| 4 受託廃棄物の再資源化推進 | 9 人材育成、環境教育普及啓発等の推進 |
| 5 自社排出一般廃棄物の削減 | |

実施計画に定めた各種指標等、取組項目ごとの進捗状況について、目標値や過去の実績値比較評価を行い、事業活動に係る環境配慮等の情報を当社に働くすべての従業員に周知し、環境レポートを社外に公表します。

制定日 2006年5月01日
改定日 2012年7月14日
改定日 2017年8月08日
改定日 2019年12月12日

有限会社 日置川清掃
代表取締役 廣田 稔雄



名称及び代表者名

有限会社 日置川清掃 代表取締役 廣田 稔 雄

所在地

本 社（登記上） 和歌山県西牟婁郡白浜町日置 2039 番地の 64 号
 処理施設及び事務所 和歌山県西牟婁郡白浜町大古 537 番地の 126 号
 土壌改良材置き場 和歌山県西牟婁郡白浜町大古 537 番地の 44 号

環境管理責任者氏名及び担当連絡先

責任者 常務取締役 廣田 耕 嗣 TEL 0739-87-2027 FAX 0739-87-2057
 担当者 環境事務局 廣田 光 紀 TEL 0739-87-2027 FAX 0739-87-2057

事業内容

一般廃棄物の積替え保管を含む収集運搬及び中間処理
 産業廃棄物の一部積替え保管を含む収集運搬及び中間処理
 再資源化品の製造販売及び太陽光の売電事業

事業の規模

法人設立	1988 年 1 月 14 日	
資本金	300 万円	
売上高	2 億 0885 万円（事業年度 4 月～3 月）	
従業員数	22 名	
事務所床面積	174m ²	
工場床等面積	5,052m ²	
収集運搬量	5,740t （産業廃棄物 4,530t 一般廃棄物 1,210t）	
中間処理量	4,683t （産業廃棄物 4,404t 一般廃棄物 279t）	
最終処分量	706t （産業廃棄物と一般廃棄物合わせて委託）	
再資源化	3,976t （産業廃棄物と一般廃棄物合わせて）	



03 組織の概要



作業車

脱着式コンテナ専用車 → 12t [2台] 4t [4台] 2t [1台]

★設置場所・排出状況に応じた様々なサイズのコンテナをご用意しております。



貨物車

ユニック車 → 8t [1台] 3t [1台] / 平ボテ車 → 3t [1台]

パッカー車 → 2t [2台] 3t [1台] / 軽トラック → [1台]



重機類・その他

建設機械(バックホウ) → 0.45m³ [2台] 0.25m³ [1台] 0.16m³ [2台] 0.1m³ [1台]

建設機械(タイヤショベル) → WA50 [1台] WA100 [1台]

フォークリフト → [2台]

清掃機器 → 搭乗式スーパード 90DK



中間処理施設

破碎施設 → SSC-12040 — 最大 2.88t/ 日
 BR120T-1 型 — 121t/ 日（木くずに限る）
 混合廃棄物選別プラント → 120m³/ 日
 圧縮、梱包施設 → YB-32M-PA-10N-20 — 0.28t/ 日（軟質系廃プラスチック類に限る）
 発泡スチロール減容器 → 形式：EH-6 — 0.180t/ 日
 缶圧縮施設 → PVA-1 — 4.35t/ 日



入口設置看板



選別施設



40t トラックスケール



木材破碎機



木材チップスイングスクリーン



圧縮減容成型機



溶 融



廃プラスチック等破碎機



ペットボトル圧縮梱包機



缶プレス機

廃棄物選別プラント

当施設では**紀南初**となる**選別リサイクルライン**を導入しております。
 リサイクルをするための前処理を行い、再資源化できるものを精選します。



①低騒音篩分機
（フィンガースクリーン）

強力な振動でふるいにかけ、20アンダー以下のもの（残渣）を排出します。



②手選別エリア

土・砂を取り除いたゴミを木屑や廃プラスチック・紙屑に手作業により分別します。



③ロータリー式磁選機

強力な磁石により、鉄屑のみ選別します。



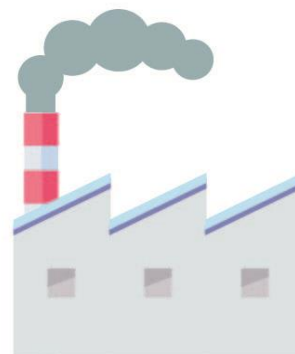
④風力分別処理装置
（デ・ストーナ）

振動・風力エアナイフを併用し重量物と軽量物に分別、同時に残りの残渣も排出します。



⑤集塵機

周辺環境に配慮した精選粉塵システム。



製鋼副資材（フォーミング抑制剤）プラント

紀南地方初!

**リサイクル工業燃料「製鋼副資材」の製造を通して、
廃棄物の削減・鉄鋼などの産業・低炭素型社会に貢献します!**

産業廃棄物である廃プラスチックを主な材料に、熱を加えるなどの加工を
ほどこすことで製品として生まれ変わらせます。

主な材料の
廃プラスチック



破碎



機械で細かく
していきます。

圧をかけたり、
形を整える。



※半日ほど稼働で、約4 tの固形燃料を作る。

・不燃物除去

磁力を使って鉄を取り除く。

・タンクに貯蓄

原料をカロリー別に安定供給。

・圧縮、成形

混合された原料を圧縮・成形。



「製鋼副資材」固形燃料

弊社が減容固化専用プラントで製造するフォーミング抑制剤は、製鋼製造時の“滓（かす）、のろ”＝スラグが膨張して発生する気泡を押さえます。

- ①高温の溶融金属が炉外へ放出される危険の解消、歩留まり向上。
- ②鉄鋼工場のコークス燃料に使用される石炭使用量の軽減、CO2 排出量の削減。
- ③原料の廃プラを有効活用し埋め立て廃棄物の削減に貢献。
- ④原料の混合比率により発熱量を調整でき、用途の広がり需要拡大が期待されます。

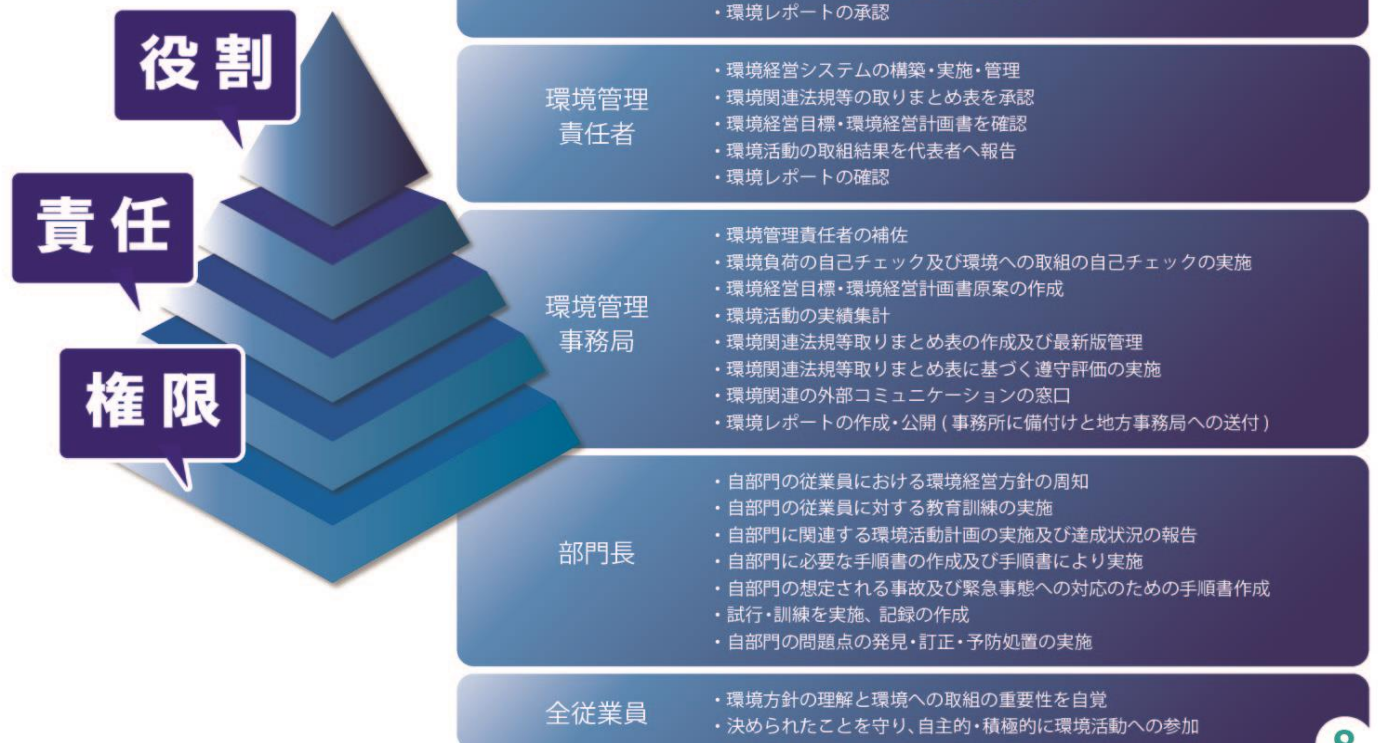
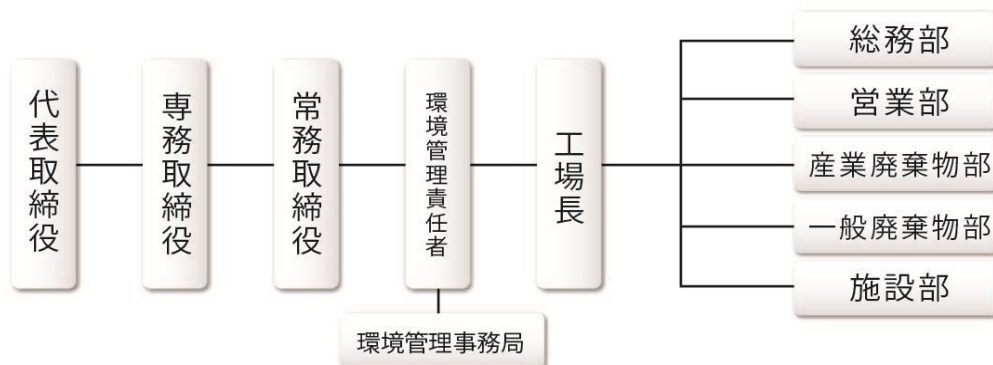
名称及び代表者名

有限会社 日置川清掃 代表取締役 廣田 稔 雄

認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 ⇒ 有限会社 日置川清掃 処理施設及び事務所、土壌改良材置場
 活動 ⇒ 一般廃棄物の収集運搬及び中間処理
 産業廃棄物の収集運搬及び中間処理
 再資源化品の製造販売
 売電事業

環境経営組織図及び役割・責任・権限表



05 許可の内容・実績



許可の内容

収集運搬業・産業廃棄物処分業・許可一覧表																
産業廃棄物収集運搬業			許可・品目													
都道府県 政令市	許可番号	許可年月日 及び 有効期限	汚 泥	廃 油	廃 プ ラ ス チ ック	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	動 植 物 性 残 さ	ゴ ム く ず	金 属 く ず	ガ ラ ス く ず	が れ き 類	燃 え 殻	鋤 さい	ば い じ ん
和歌山県	第 03016070300 号	2020 年 7 月 2 日 2025 年 6 月 1 日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
大阪府	第 02700070300 号	2024 年 8 月 30 日 2029 年 8 月 29 日	●		●	●	●	●		●	●	●	●			
奈良県	第 02900070300 号	2020 年 8 月 17 日 2025 年 8 月 16 日	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
三重県	第 02400070300 号	2019 年 11 月 1 日 2024 年 9 月 25 日	●		●	●	●	●		●	●	●	●			
産業廃棄物処分業			許可・品目													
和歌山県	第 03026070300 号	2022 年 5 月 17 日 2027 年 5 月 16 日			●	●	●	●		●	●	●	●			
来歴：令和元年 7 月 10 日 燃え殻・鋤さい・ばいじん追加許可（奈良県知事）																

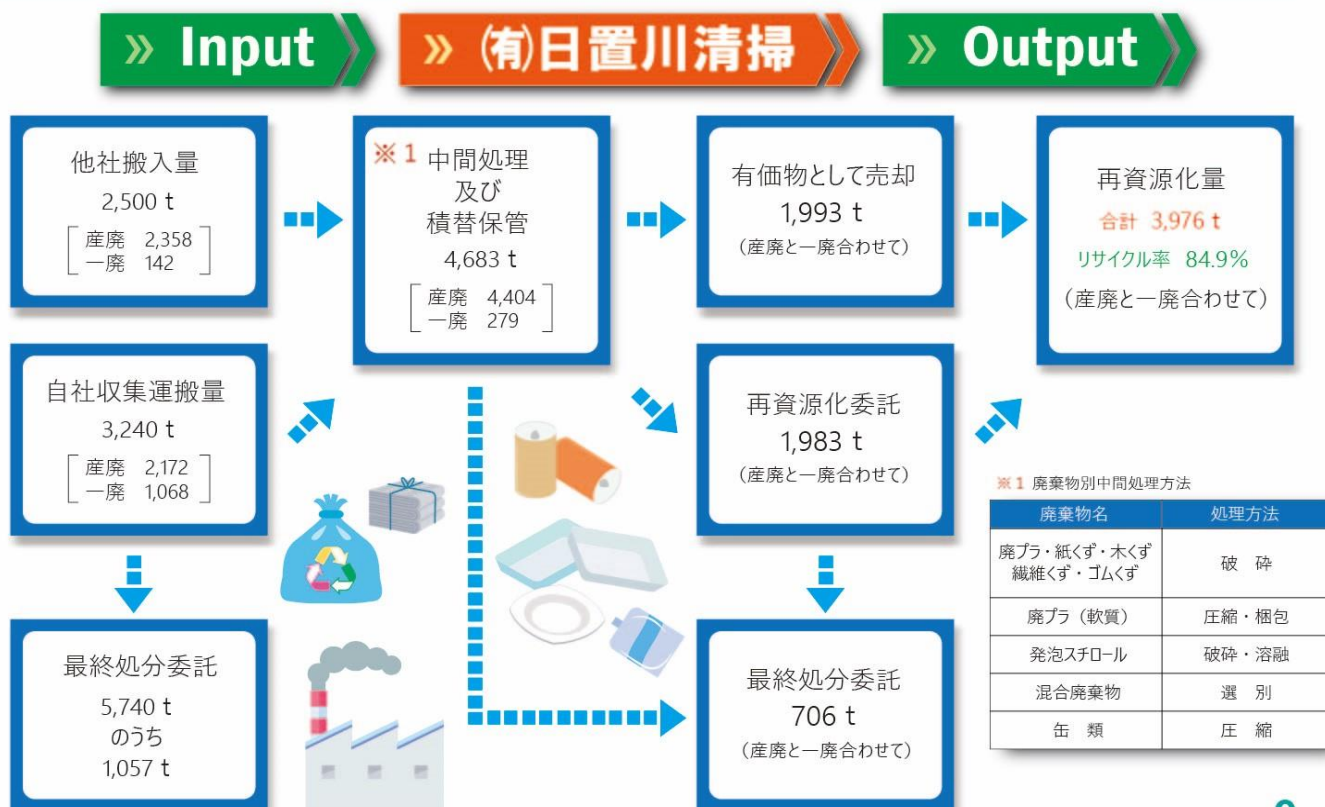
〈一般廃棄物関係〉

白浜町一般廃棄物処理・収集運搬業 許可番号 第 8722005 号
許可年月日 2024 年 4 月 1 日 / 有効年月日 2026 年 3 月 31 日

〈建設業関係〉

一般建設業 和歌山県知事 許可（般-29）第 14829 号 建築工事業
許可年月日 2023 年 2 月 14 日 / 有効年月日 2028 年 2 月 13 日

廃棄物処理フロー 2023 年度実績





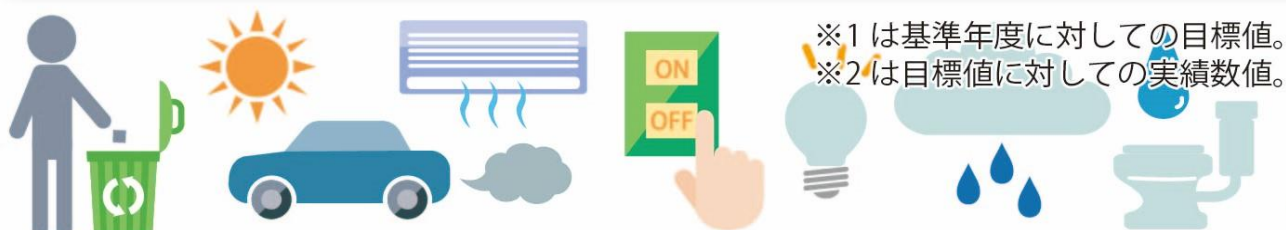
主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	343,308	358,469	346,666
受託収集運搬量（一廃と産廃）	t	7,253	5,400	5,740
受託中間処理量（一廃と産廃）	t	6,272	4,417	4,682
委託最終処分量（一廃と産廃）	t	1,555	1,620	1,763
一般廃棄物排出量	kg	119.0	110.1	106.5
産業廃棄物排出量	t	5,977	4,135	4,529
雨水使用量	m ³	39.2	498.6	311.7

※二酸化炭素調整後排出係数 0.444 kg-CO₂/kWh（R5 年度 リコージャパン実績）

環境経営目標及びその実績

項 目		年 度	基準値	2023年		評価	2024年	2025年
			基準年度	目標 ※1	実績 ※2		目標	目標
電力による 二酸化炭素削減	kg-CO ₂		97,924	86,173	94,137	×	84,214	83,235
		2022 年		88.0%	109.2%		86.0%	85.0%
自動車燃料による 二酸化炭素削減	kg-CO ₂		302,135	293,071	252,529	○	290,049	287,028
		2021 年		97%	86.1%		96%	95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂		400,059	379,244	346,666	○	374,263	370,263
一般廃棄物の削減	kg		119.0	110.6	106.5	○	107.1	103.5
		2021 年		93.0%	96.2%		90.0%	87.0%
受託廃棄物のリサイクル率の向上	%		85.1%	86.0%	84.9%	×	87.0%	88.0%
雨水の利用	m ³		498.6	473.7	311.7	○	463.6	453.7
		2022 年		95.0%	65.8%		93.0%	91.0%
グリーン購入の推進	%		56.4%	60.0%	53.5%	×	60.0%	62.0%
環境に配慮した収集運搬	出発前にタイヤの空気圧・ホイールナットの点検を行っている。日々心がけていることなので、評価は全体的に○としています。今年度は車輛の購入などはありません。							



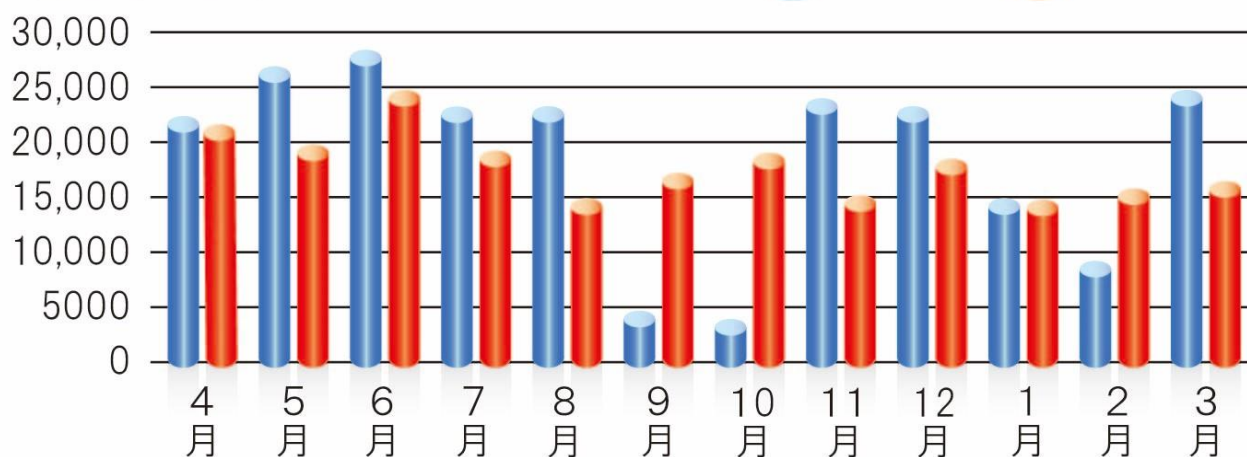
環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標 ⇒ ○達成 ×未達成

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
数値目標	×	
事務室・工場などの照明は、昼休み・残業時などの不必要な時は消灯している	○	1年を通して、取り組みはよく出来ていると思います。 やはり全体的に基準年度よりは節電出来ているが、目標は達成出来ていない。 搬出量により機械の稼働量も違うので仕方がないかもしれない。 目標値をもう少しゆるくしてもいいのかも？
ロッカー室や倉庫・使用頻度が低いトイレなど、照明は普段は消灯し使用時のみ点灯している	○	
夜間や休日はパソコン・プリンターなどの主電源を切っている	○	
ブラインドやカーテンの利用などにより熱の出入りを調節している	○	
夏季における軽装、冬季における重ね着など服装の工夫をして、冷暖房の使用を抑えている	○	
電力不要時には負荷遮断・変圧器を遮断している	○	
屋間の太陽光や人の存在を感知し、必要時のみ点灯する設備を採用している	○	
コピー機・パソコン・プリンターなどのOA機器については、エネルギー効率の高い機器を導入している	○	
負荷の変動が予想される動力機器において、回転数制御が可能なインバーターを採用している	○	
部分換気システムを導入している	○	
屋根・壁・床などに断熱材を採用している	○	
太陽光発電設備を導入し、太陽エネルギーを電気として利用している	○	
設備の定期点検と予防保全の実施をしている	○	

kWh	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	21,694	25,214	27,386	22,257	22,456	4,481	3,525	23,174	22,244	14,995	8,303	24,820
2023年	21,578	19,963	24,547	19,052	14,725	15,943	18,951	14,989	17,789	14,258	15,098	15,129

電力 (kWh)

■ 2022年
■ 2023年


※太陽光発電設備を設置し、FIT制度により太陽光エネルギーを利用している。11



環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標 → ○達成 ×未達成

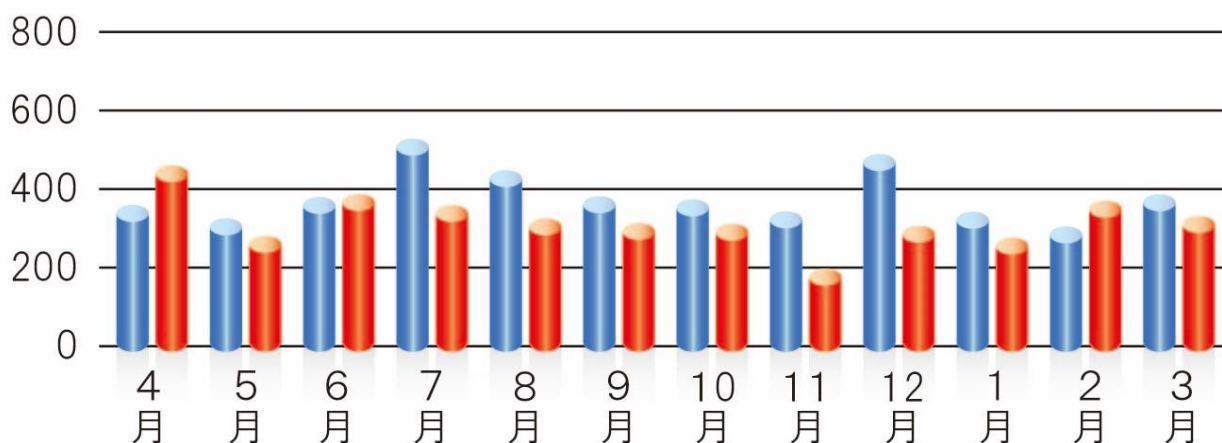
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
数値目標	○	
ドライブレコーダーなどを導入し、車両の運転における燃料効率の改善を図っている	○	1年を通して取り組みもよく出来ているし目標も達成出来ている。 年末から年度末にかけて少し軽油量が増えているが、さほど問題はないかと思えます。
効率的な訪問先のルートの設定	○	
急発進急加速の防止	○	
油圧リリーフの防止	○	
波状運転の防止	○	

ガソリン	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	363	304	339	492	402	389	383	333	432	357	304	388
2023年	429	250	364	320	300	289	287	189	284	267	322	286

軽油	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	9,855	10,347	15,998	9,715	9,560	9,755	10,098	9,092	6,385	7,903	6,542	7,813
2023年	5,718	8,235	9,081	6,164	7,019	9,368	8,575	6,577	8,416	8,255	7,650	9,589

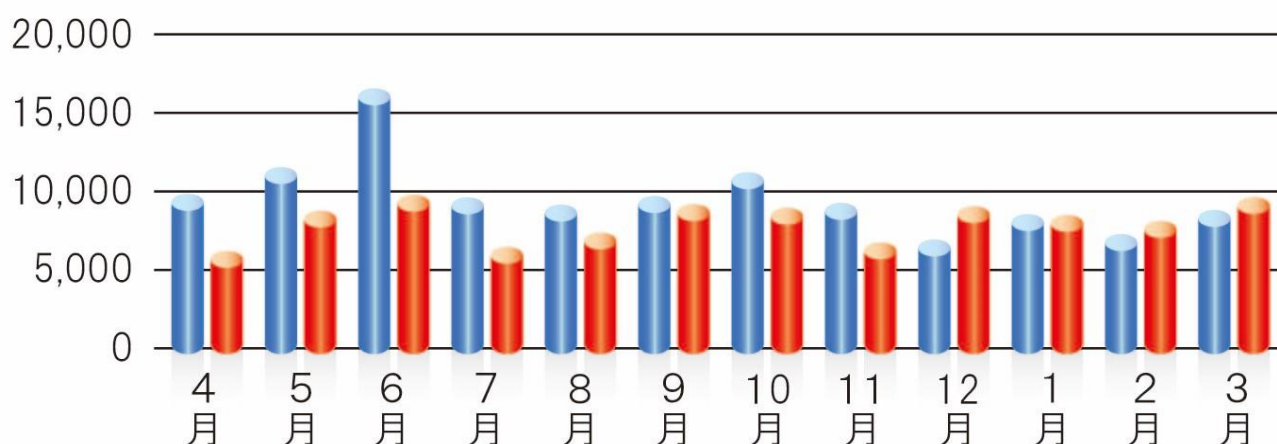
ガソリン (L)

2021年 2023年



軽油 (L)

2021年 2023年





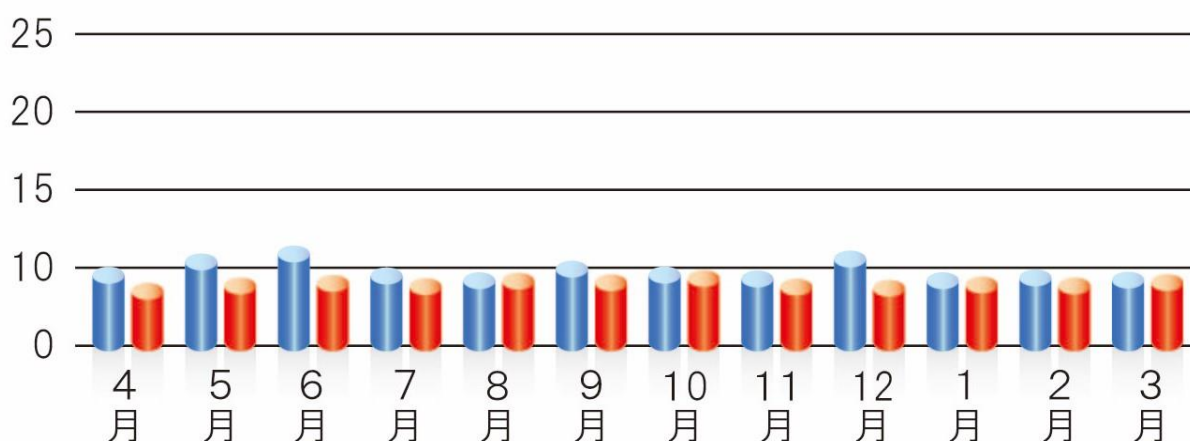
環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標 ⇒ ○達成 × 未達成

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
数値目標	○	
印刷物を作成する場合はその部数が必要最小限の量となるように考慮し残部が出ないように配慮している	○	1年を通して達成出来ています。取組についても、社内において常日頃心がけていることです。もっと削減できればと思いますが、とりあえずはこれ以上増やさないよう、現状維持でいきたいと思っています。
社内 LAN・データベースなどの利用による文書の電子化に取り組んでいる	○	
両面・集約などの機能を活用した印刷及びコピーを徹底している	○	
使用済み用紙・ポスター・カレンダーなどの裏紙が活用できる紙は可能な限り利用するよう工夫している	○	
ミスコピーを防止するため使用前に設定を確認するとともに、使用後は必ず設定をリセットしている	○	
分別回収ボックスの適正配置などにより、ごみの分別を徹底している	○	
生ごみなどの分別・リサイクルや適正な焼却処分を極力行うことにより、有機物の埋立て処分を抑制している	○	

kg	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	9.8	10.2	10.5	10.0	9.5	10.1	9.8	9.7	10.4	9.5	9.8	9.7
2023年	8.3	8.8	8.9	8.7	9.3	9.1	9.4	8.7	8.5	8.9	8.8	9.1

一般廃棄物 (kg)

■ 2021年
■ 2023年


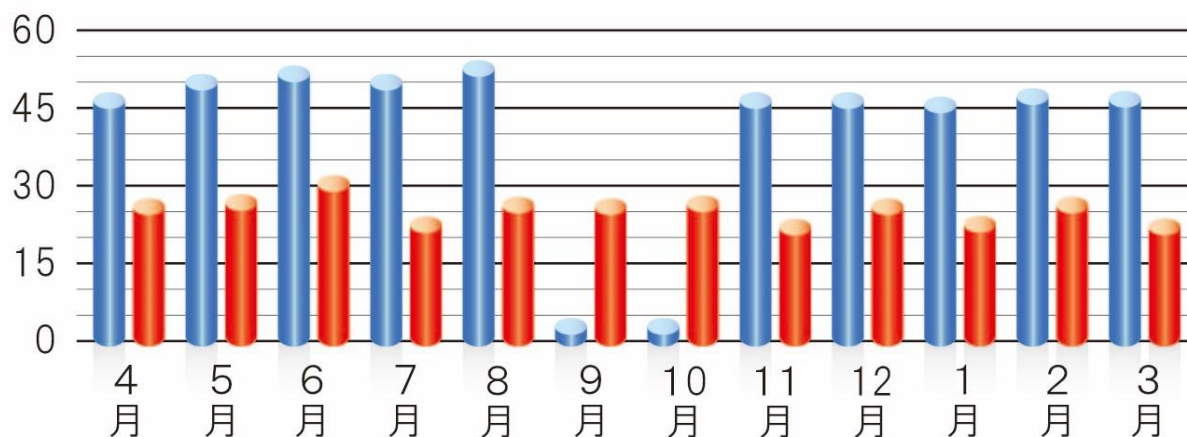


環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標 ⇒ ○達成 ×未達成

雨水の利用	達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
数値目標	○	基準年度はまだ新事業も探り探りの段階でした。今年度は基準年度を考慮し、大幅に使用量をおさえる事が出来たと思います。来年度も引き続き考慮していきたいと思います。
手洗い時・洗い物においては、日常的に節水を励行している	○	
生産工程で使用する水を再利用するための設備を設置し活用している（中水利用）	○	
雨水の貯留タンクや雨水利用施設の設置などにより、雨水利用を行っている	○	

kg	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	46.7	51.3	53.1	51.9	54.0	2.5	3.1	47.1	46.9	45.8	48.3	47.9
2023年	25.8	27.3	31.2	23.5	27.0	26.8	27.5	23.2	26.1	23.9	26.4	23.0

雨水 (m³)
■ 2022年
 ■ 2023年


雨水タンク (5000ℓ×2)

雨水タンク設備全体

環境経営計画の取組結果とその評価

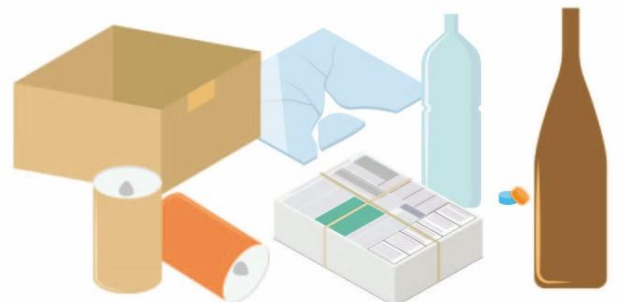
数値目標 ⇒ ○達成 ×未達成

受託廃棄物のリサイクルの向上		達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
数値目標		×	数値目標は一年を通して達成出来ていない。 廃棄物量は、一般廃棄物と産業廃棄物の資源ごみの量です。目標達成率に少し届きませんでした。 引き続き、より多くリサイクルできるように改善していきたいと思います。
廃棄物の分別を徹底をし、可能な場合は売却している		○	
廃棄物処理方法の変更をし分別廃棄の徹底を行い廃棄物を資源化できるようにしている		○	
循環型社会形成推進基本法に基づき再使用・生利用又は熱回収の実施に積極的に取り組んでいる		○	
リサイクル製品の販売促進に積極的に取り組んでいる		○	

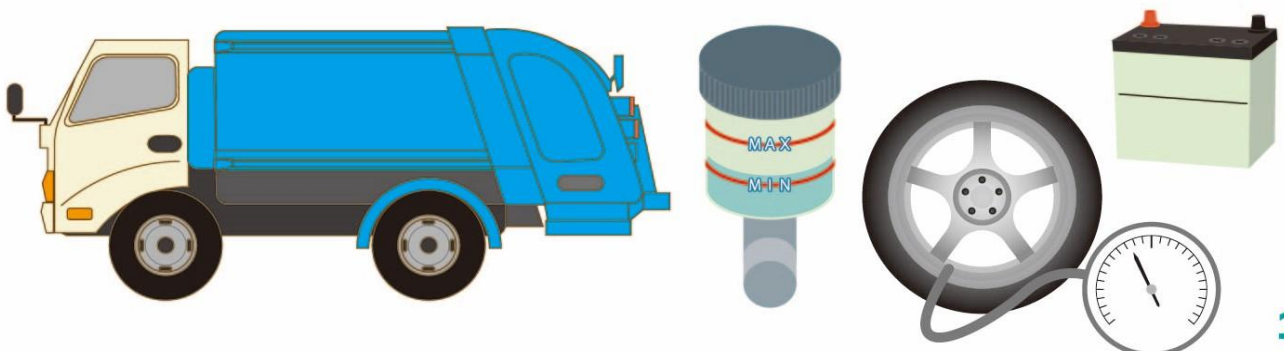
kg	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	83.7	86.2	85.5	86.0	86.5	87.2	86.6	86.5	86.2	85.9	85.4	85.1
2023年	86.3	88.6	84.3	84.1	85.5	80.2	84.2	92.4	76.1	86.9	85.0	84.0

グリーン購入の推進		達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
数値目標		×	全体的に80%越えて○評価と考えています。 基本的に車両部品などについては再生品などがほばないのと修理などについては専門会社などにお任せしているので把握できていないところもあります。 事務用品などではできるだけエコ商品・再生品などの購入を心がけています。 今年度、新車両などの購入はありませんでした。
環境ラベル認定など製品を優先的に購入している		○	
社内省エネルギー基準適合製品を購入している		×	
再生材料から作られた製品を優先的に購入・使用している		○	
部品の再使用、素材の再生利用が容易な設計の製品を優先的に購入・使用している		×	
社用車について、ハイブリッド車や低燃費車などの低公害車への切替えに取り組んでいる		×	

%	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	53.3	72.7	66.7	76.9	60.0	14.3	62.5	71.4	60.0	53.8	28.6	57.1
2023年	64.2	14.2	50.0	63.6	66.6	45.4	33.3	75.0	87.5	30.0	40.0	72.7



環境に配慮した収集運搬		達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
数値目標		なし	今年度、新車両の購入などはありませんでした。 取り組みについては、日々注意をはらって行っているため今年度も何も問題なく過ごせました。
排気ガスや騒音のレベルを抑えるため適正な車両整備を行っている		○	
収集運搬車両の購入の際は排ガスのレベル・燃費・リサイクル素材の使用などを考慮している		○	
最新の排ガス規制や騒音規制に適合した車両への代替を進めている		○	
エコドライブなど運転方法の配慮（駐停車中のエンジン停止など）を励行している		○	
デジタル式運行記録計、ドライブレコーダーなどエコドライブ関連機器を導入している		○	
タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正值（メーカー指定の空気圧）を保つようにしている		○	





環境関連法規等の遵守状況

法規名	該当する施設等の項目	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	適正処理と契約書、マニフェスト管理	○
和歌山県公害防止条例	粉塵を発生する破砕機とふるい	○
騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法	一般廃棄物・産業廃棄物処理施設	○
消防法(危険物関連)	指定可燃物四品目の管理	○
フロン排出抑制法	業務用空調機器のフロン簡易点検	○
労働安全衛生法(第76条、他)	技能講習の修了が必要な業務等	○
道路交通法(第74条)	安全運転管理者	○
道路運送車両法(第47条、第48条、第49条、第50条)	収集運搬車の点検・整備	○
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律	重機類を含む日常および法定点検	○
計量法(第19条、第21条)	計量機定期検査	○
家電リサイクル法	家電製品(特定家電品)の廃棄	○
水質汚濁防止法	油水分離槽の管理(清掃・定期点検)	○
グリーン購入法	購入時に該当品の確認を行う	○
廃棄物処理法施行令等の改訂(水銀廃棄物関係)	自社産廃の水銀使用製品の適正保管及び処理委託	○

※環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反・訴訟等も過去3年間ありませんでした。

緊急事態対応訓練



消防訓練

実施内容 通報訓練・消火訓練・避難訓練を想定して



令和5年6月13日実施。

災害防意識の一層の普及を図ることで、火災の発生を防止し減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として実施しています。実施後、参加者が訓練を振り返り、特に改善点がなかったことを確認した。



活動の紹介

社内班長会議《毎月始め》

- ・ 教育資料回覧
- ・ その他、情報共有掲示の活用



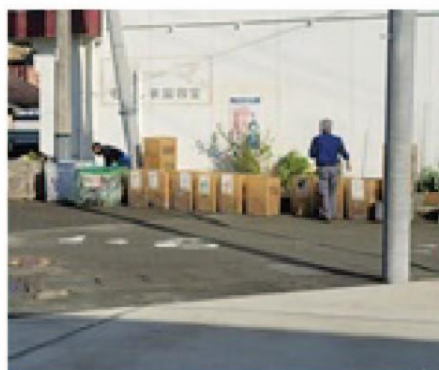
展示会の視察

- ・ 業務関連研究のために展示会など視察。



資源ごみ回収《月4回》

地域住民の方々と協力しあいゴミの分別を徹底し（各地域）毎月1回、資源ごみの回収を行っています。



活動の紹介

新聞広告掲載 & 地元ラジオ出演

- ・ 弊社の事業紹介
- ・ 新事業の内容紹介 など



紀南初!

環境保全で明るい未来の街づくり

有限会社 日置川清掃

製鋼副資材プラント 完成

(フォーミング抑制剤 及び 昇熱剤)

リサイクル工業燃料「製鋼副資材」の製造を通して、
廃棄物の削減、鉄鋼などの産業、低炭素型社会に貢献します。

製鋼副資材原料受け入れ準備万端です。

廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、木くず、燃えガラ、鋳さい、ばいじん、汚泥

- ◆従来の焼却・埋立処理と比較して、コストダウンをご提案します。
- ◆廃棄物の流れを明確にできます。不法投棄の心配がありません。
- ◆環境への取り組みとしてイメージアップに貢献します。

「製鋼副資材」は、廃プラスチック、紙くずなどを原料とした固形化燃料です。

廃プラスチックは、燃焼させると有害物質(ダイオキシンなど)を発生するため、廃棄物として処分するに近似的なものでした。しかし、減容固形の専用プラントで固化した固形燃料は、燃焼させると、ダイオキシンの発生が極端におさえられるようになり、高い発熱量、CO₂の排出削減などの特徴があります。石炭の代替燃料として、製紙工場・鉄鋼工場のボイラー燃料やコークス燃料として利用されます。原料が廃棄物なので、化石燃料に比べて低コストなことが、廃棄物の削減にも貢献し、CO₂排出量の削減も可能です。原料の混合比率の調整で、発熱量も調整できるので、さまざまなシーンでの活用が期待されています。

お気軽にお問い合わせください

TEL.0739-87-2027

(営業時間) 月曜日～金曜日 8:00～17:00 (土日・祝日) 日曜日・祝日

8t/日 1t/時間(8時間稼働)

環境保全で明るい未来の街づくり

有限会社 日置川清掃

産業廃棄物処理業 / 産業廃棄物収集運搬業 / 一般廃棄物収集運搬業 / 一般建設業 (建築工事業)

本社 〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置 2039-04
 施設 〒649-2521 和歌山県西牟婁郡白浜町大古 537-126
 TEL.0739-87-2027 FAX.0739-87-2057
 URL: http://www.seisou-hikigawa.com/
 E-mail: hshirotaj@boe.ocn.ne.jp

製鋼副資材ができるまで

「製鋼副資材」固形燃料

エコアクション21
登録番号0001481

これまでの環境活動の紹介

令和5年6月

会社前河川敷の清掃

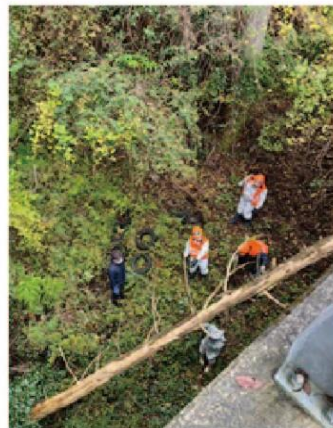
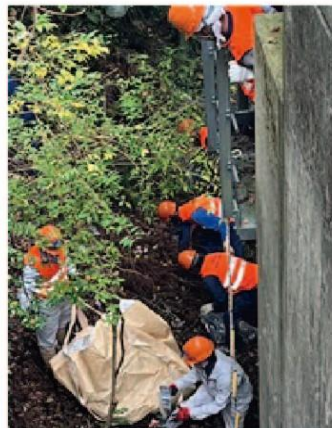


環境月間に伴い、会社の前（周辺）の清掃を行いました。

不法投棄ではなく、増水等によって流れてきた流木やゴミなどが多数でした。

令和5年11月

不法投棄防止巡回パトロール



和歌山県資源循環協会が実施する「和歌山県ごみの散乱防止に関する条例」に係る取組の一つ。ごみの散乱防止についての県民意識の高揚とともに、県民及び県内事業者の自主的な清掃活動の促進を目的に制定され、当巡回パトロールが認定されました。

これまでの環境活動の紹介

環境人づくり企業大賞2019奨励賞を受賞しました！

《環境省 環境人材育成コンソーシアム (EcoLead) による評価（評価ポイント・取組内容）》

業界内や地域での啓発活動や支援・貢献の強い姿勢が読み取れる。
マイクロプラスチックの問題についても、本業と関連付け取り組もうとしている。



「環境人づくり企業大賞 2019」は自社社員を環境人材に育成する企業の取組及びその成果を表彰するものです。

平成27年度関西エコオフィス奨励賞を受賞しました！！



平成28年3月22日、関西空港会議場（ホテル日航関西空港内）にて「平成27年度関西エコオフィス大賞」表彰式が行われました。弊社の環境保全活動の取組を評価していただき、平成27年度関西エコオフィス奨励賞を受賞しました。三日月大造 滋賀県知事より表彰状を授与していただきました。貯水タンクによる雨水利用で施設内の水利用をほぼ賄っているところや、環境活動の成果をグラフ化して社内に掲示し「見える化」を行っている点などが、高く評価されました。今後も環境保全活動の第一人者として、エコ活動を推進していきます！





代表者による全体の評価と見直し・指示

2023 年度全体評価について、コロナによる影響も落ち着きはじめて年であったと思います。数量としてはまだまだですが 2021 年度より動き始めた新事業（製鋼副資材の製造）もスムーズに行うことが出来ました。今年度は新聞やラジオ・地元テレビ出演など様々な方法で弊社の事業内容や取り組みを伝えてきました。ただのゴミ収集屋さんとしてしか知られていないことがほとんどでしたが、廃棄物の削減・低炭素社会にむけてすごいことをしているんですねという声をたくさん頂くようになりました。田舎特有かもしれませんが人材不足の悩みは毎年つきません。来年度も幅広い年齢層に沢山のの人に弊社を知って頂いたうえで興味をもってもらい人材不足の解消にもつなげていきたいと思います。

環境経営方針
環境目標
実施体制

☐変更あり
☐変更あり
☐変更あり

☒変更なし
☒変更なし
☒変更なし

令和 6 年 6 月 1 日

